

選抜区分： 一般選抜第2期・特別選抜(社会人)第3期・特待生選抜第2期

科目： 小論文

学部： 看護学部

[設問2] 内容の評価の観点

映像作品は、その作品を楽しむことを目的に作られているが、若者は、世の中の話題についていくためや、他者とのコミュニケーションツールなど、別の目的で利用している。そのため、あらすじや結末だけが分かればよいというのが、若者が倍速視聴や10秒飛ばし視聴する理由のようである。しかし、映像作品の10秒間の沈黙シーンには意図があり、緊張感や気まずさなど様々な感情が表現されている。

近年の学生は、自分が見たことを自分の言葉で表現する力が弱い印象を受ける。これは、倍速視聴により物語をセリフやナレーションだけで理解する習慣が影響しているのではないか。映像として映されているものが何を表しているのか、どんな意味があるのか考えない習慣が影響しているのではないか。

看護の現場では、患者の「大丈夫」という言葉の裏に、大丈夫ではない場合がある。患者の訴えだけでなく、患者や周囲の様子から患者を理解しなければならない。看護職を目指す高校生が、倍速視聴によるメリットとデメリットをどのように感じているのか理解したい。

[設問2] どのような解答を求めるのかのポイント

- メリットとデメリットのいずれか、あるいは両方に触れている
- 理由や内容に具体性がある